

令和2年度 学校評価 『前期・後期の比較とまとめ』

項目	●色教師アンケート項目 ●色生徒アンケート項目 ●色保護者アンケート項目		■そう思う ■ややそう思う ■ややそう思わない ■そう思わない *グラフ内の合計が100を超える場合もあります。		肯定否定割合		総合評価		
	番号	具体的な評価内容	自己評価割合 (%)		肯定 %	否定 %			
Ⅰ 教育目標について	①	学校経営方針に基づき、教育活動を行っている。	70	30	100	0	A		
			76	24	100	0	A		
	②	若草中学校は、常にP→D→C→Aサイクルに基づいた教育活動にとりくんでいる。	47	53	100	0	B		
			52	48	100	0	A		
	③	目指す生徒像	「よく学び、工夫する生徒」を育成している。		53	47	100	0	A
					41	59	100	0	B
	④		「心豊かで、助け合う生徒」を育成している。		53	47	100	0	A
					59	41	100	0	A
	⑤		「健康で、たくましい生徒」を育成している。		47	53	100	0	B
					48	52	100	0	B
⑥	「意欲を持ち、やり抜く生徒」を育成している。		50	50	100	0	A		
			38	62	100	0	B		
考察	校長の経営方針に基づき、学校教育目標や目指す生徒像に向けて、教育課程全体において先生方が熱心に取り組んでいる。コロナウイルス感染症対策としてあらゆる行事が削減傾向にある中、生徒や教員が一丸となって、様々なアイデアを出し、縮小という形ではあるが生徒も保護者も満足を得られる中、成功裏に行事を終えることができた。 ②については、コロナに対する試行錯誤の様子がうかがえる。③については生徒も工夫を凝らし行事に取り組んではいるが、グループ学習ができないからB評価となっていると思われる。また、⑤⑥についても感染症対策から、あらゆる場面からの体力作りや体験活動が影響していると考えられる。								
改善	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標達成を意識した行事を教育課程に沿って計画的に仕組んでいく。 ・行事によってとくに成長できる「自主・自立」に関わる活動を、今後も日常の学校生活の中にも仕組んでいく。 ・コロナ感染症対策のために制限される中においても目標達成のために全職員で工夫を凝らす。 								
学校関係者評価委員会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す生徒像についての先生方の取組について……新型コロナウイルスの影響で、教育活動が今までの通りに行えない状況がある。先生方の持っている教育の高い理想像と、コロナの影響で行えない現実とのギャップが見て取れる。そのギャップの中、努力している先生方に敬意を表したい。 ・コロナウイルスの影響は、数年続くという研究者もいる。コロナの影響下での行動目標を、特設の評価項目とすることも考えて良いのではないか。 ・元気で礼儀正しい感じがある。小中一貫で取り組みができればと思う。 ・先生方がコロナの中で頑張っている姿が、保護者にとってもよくわかる。 								
Ⅱ 校務分掌について	①	職務内容を十分理解し、責任を持って仕事にあたっている。	62	38	100	0	A		
			79	21	100	0	A		
	②	自分の分掌と他の人の分掌との関連を考え、相互に連絡・協調している。	48	52	100	0	B		
			55	45	100	0	A		
	③	分掌の達成状況、改善点などを管理職に「報告、連絡、相談、確認」している。	55	38	93	7	A		
			59	41	100	0	A		
④	管理場所の安全点検を行い、常に適切な安全管理に努めている。	69	28	97	3	A			
		79	21	100	0	A			
⑤	職員会議や校内研究会に積極的に参加し、決定事項を実践している。	55	41	97	3	A			
		66	34	100	0	A			
考察	評価内容の①～⑤のすべてにおいて、後期は全て「肯定」となった。コロナ感染症対策の中、特に2学期は学園祭を開催する中で、生徒が満足できるように、また家庭や地域の要望等に応じるために、先生方一人一人が工夫を凝らして職務にあたっている。 そのこともあり、学年内の横のつながりはもちろん、生徒会や委員会、生徒指導等の縦のつながりも十分に意識され取り組まれている。同様に職員会議や校内研究においても、様々な視点から提案はもちろん、活発な意見が出されている。								
改善	<ul style="list-style-type: none"> ・教師一人一人のさらなる学校教育への主体的な参加。(コミュニケーション・ミドルリーダー) ・管理職、教務主任、生徒指導主事、学年主任間の情報交換のさらなる意識化をする。(運営委員会) 								

学校関係者
評価委員会
意見

- ・新型コロナウイルスは、学校現場においても大きな危機であり、職員が一丸となって対応していかななくてはならない状況であろう。平常時にも増して、先生方の仕事への意識が高まっていることがうかがえる。
- ・先生方がよく頑張っている。縦横の軸を指導し、さらに良い学校を目指してほしい。

Ⅲ 学習指導・進路指導について

①	基礎・基本の定着を図る授業を行っている。		100	0	A
生11	先生方は、わかりやすい授業をしていると思いますか。		94	6	A
保11	先生方は、わかりやすい授業に努めていると思いますか。		92	8	B
②	生徒の思考力・判断力・表現力、学習意欲を向上させる教科指導のあり方や教育内容の工夫改善に努めている。		100	0	B
生13	先生方は、授業に意欲的に取り組めるように教材や教具を工夫して授業を行っていると思いますか。		95	5	A
保13	先生方は、お子さんが意欲を持って取り組めるような、授業の工夫をしていると思いますか。		88	12	B
③	研究主題を意識した「学び合い」のある授業を実践している。		70	30	C
生12	先生方は、一人一人の考えを大切にしたい、学び合いのある授業を進めていると思いますか。		95	5	A
保12	先生方は、一人一人の考えを大切にしたい、学び合いのある授業を進めていると思いますか。		90	10	B
④	少人数グループや習熟度別授業の実施、また、発展的な内容を取り入れるなど、個に応じた指導を行っている。		67	33	C
生13	先生方は、授業に意欲的に取り組めるように教材や教具を工夫して授業を行っていると思いますか。		95	5	A
保13	先生方は、お子さんが意欲を持って取り組めるような、授業の工夫をしていると思いますか。		88	12	B
⑤	指導と評価の一体化を心がけ、生徒の意欲や自信につながる評価を行っている。		100	0	B
生14	先生方は、いろいろな場面で、あなたが努力したことを認めてくれますか。		92	8	A
保14	先生方は、お子さんの努力したことを認めてくれて、さまざまな面から評価していると思いますか。		93	7	B
考察	<p>教師の自己評価である①②③④⑤に対して、生徒のアンケート結果（生11～生14）は前期・後期ともに90%以上の全てA評価となっており、生徒達の満足度や教師との信頼関係が構築されていることがうかがえる。 保護者の評価内容においても、前期、後期ともに肯定評価が80%を上回り、保護者における満足度や教師との信頼関係も構築されていると考えられる。</p>				
改善	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒達からすべてA評価が付いた。今後も授業づくりを大切に、生徒との信頼関係を深める。 ・テスト前の学習会等、補習授業等の計画（各学年） ・生徒の良い点を多く見つけて評価に生かし、保護者との信頼関係を築く。 				
⑥	生徒が自らの生き方について考え、正しい職業観を身に付けることができるように進路指導を行っている。		90	10	B
			100	0	B

<p style="text-align: center;">学校関係者 評価委員会 意見</p>	<p>考察</p> <p>1年生では「自分を知る・自分の職業観を見つける」、2年生では「職業講話・職場体験」、3年生では「自己の生き方について考える・進路選択」が行われている。コロナ感染症対策のため本来2年生の職場体験が2日間予定されているが実施できなかった。 また本年度より導入となった「キャリア・パスポート」の取り組みあることもあり、肯定感が高くなっているといえる。「職場体験」ができなかったこともあり、「そう思う」の評価が低くなっているといえる。</p>	
	<p>改善</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリア教育において、各教科・道徳・総合・特別活動における横断的な関わりの見直しはもちろん、日常的にキャリア教育の推進を図る。 各学年の取り組みを中心に、PDCAサイクルで工夫改善を行っていく。 キャリアパスポートの有効的な活用。(キャリア教育主任) 	
	<ul style="list-style-type: none"> 「学び合い」のある授業、少人数グループや習熟度別授業、発展的な内容の取入れなど、先生方が授業を工夫していることがわかる。 コロナウイルスの影響で、学校では行事を行うことに大きな制約がでている現状がある。そのような中、授業こそが今までにも増してもっとも重要な活動になる。生徒が授業に対して高い満足度を示していることは、先生方がたいへんに力を尽くしていることによるものだろう。 授業参観がなかったことで、様子がわからないので保護者の数値が低くなっているのだろう。 「そう思う」「やや思う」を区別する必要があるのか、保護者はそこまで大切なアンケートと自覚していない面もある。 授業がわかる、楽しいに否定的な生徒にも、細かな指導をお願いしたい。 職場体験はとても大切な行事であるので、続けてほしい。 	
<p>IV 生徒指導・道徳指</p>	<p>① 生徒理解のために生徒とのコミュニケーションを図る努力をしている。</p>	
	<p>生15 先生方は、生徒の意見をよく聞き、相談に乗ってくれていると思いますか。</p>	
	<p>保15 先生方は、相談や悩み事について、適切に応じてくれていると思いますか。</p>	
	<p>生16 先生方には、気軽に何でも相談できますか。</p>	
	<p>保16 お子さんは、先生方（担任も含みます）になんでも相談していますか。</p>	
	<p>考察</p> <p>生徒一人一人を大切にしながら対応している教師の姿がうかがえる。生徒達から総合評価15はA評価が付くことができています。また、保護者の総合評価保15についても前期同様高評価となっている。 生徒16、保護者16について昨年度まで「学級担任の先生方には、気軽に何でも相談できますか。」という内容であったが、本年度より「学級担任」から「先生方」に変更、結果は低くなってしまった。今後、委員会や部活動等、多くの場面で生徒と接することの対応を考えていく必要がある。</p>	
	<p>改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も一人一人ひとりの生徒を大切にされた対応を続けていく。(生徒理解と生徒情報交換の大切さを全職員が意識化) チームとして対応が必要な場合の組織を強固にする。(学年主任、生徒指導主事、養護教諭、SC等関係職員) 委員会や部活動など、あらゆる場面で生徒理解に努め、相談しやす雰囲気をつくる。(生徒指導主事、全職員) 	
	<p>② 基本的な生活習慣、生活のルールや決まりを身につけさせる指導を行っている。</p>	
	<p>生8 あなたは、一日の生活のリズム（起床・就寝・食事・排泄など）がつけていますか。</p>	
	<p>保8 お子さんは、一日の生活のリズム（起床・就寝・食事・排泄など）がつけていますか。</p>	
<p>考察</p> <p>約束や集団としてのルール・マナー等を身につけることは、今後社会に出るうえで非常に大切なことである。このことについては先生方もとても重要と考えているとともに、生徒達もその必要性を十分に自覚し、先生方の指導についてもしっかりと受け止めることができているとうかがえる。 保護者にとっては、起床・就寝・食事など、直接見える部分であり、心配している様子がうかがえる。また、そのことは家庭においてしっかりとしつけをしているあらわれであると思える。今後も家庭との連携を図り、生徒の成長を見守っていくことが大切である。</p>		
<p>改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 「あたり前のことをあたり前に」、これまでと同様に基本的な生活習慣やマナー等、全職員で気が付いたことについて指導を継続していく。(生徒指導主事のリーダーシップ) 家庭・地域との連携を図りながら、より生活習慣やマナー等の充実を図る。 		
<p>③ 一人一人のよさを認め合う態度、望ましい人間関係を育てる指導を行っている。</p>		


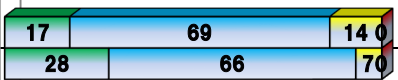
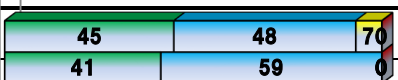

④	生徒支援委員会（生徒指導部会、ケース会議含む）は、組織的・計画的に運営され、有機的に機能している。	46	54	0	100	0	B
		48	52	0	100	0	B
考察	上記の生徒総合評価15が高評価の通り、生徒ひとり一人の生徒理解に努め、望ましい人間関係を育てようとして先生方が特に励んでいる様子がうかがえる。授業や教科外においても細かく指導している姿が見られている。 生徒支援委員会において、生徒一人一人について、今後どのような指導が適切であるのか熱心に話し合いが行われ、直接かわる先生方へのアドバイスが行われる。また、学校全体としてどのように関わるのか、外部機関を利用してどのように関わるのかなど、チームとしての関わりについても検討されている。						
改善	<ul style="list-style-type: none"> 生徒支援について、先生方が気軽に相談し合えるようコミュニケーションを大切にする。（全職員の意識化・ミドルリーダー） 生徒支援委員会の情報はもちろん、生徒理解を共有できる場を形式にとらわれず気軽に設定（朝礼等） 生徒支援委員会の実施計画（生徒指導主事） 						
⑤	道徳の授業を年間計画に沿って実践し、道徳的实践力を高めるための指導を授業以外でも日常的に取り組んでいる。	41	48	100	90	10	B
		41	59	0	100	0	B
生17	学校は、道徳教育（人間の生き方やあり方）を行い、心を育てる教育をしていると思いますか。	65	29	52	94	6	A
		63	30	61	93	7	A
保17	学校は、道徳教育（人間の生き方やあり方）を行い、心を育てる教育をしていると思いますか。	35	56	80	92	8	B
		36	56	62	92	8	B
考察	「特別の教科 道徳」となり、先生方も心を育てる教育に熱心に取り組んでいる。各学年の道徳担当を中心に、道徳授業について様々な意見が交換され、よりよい授業の在り方について検討されている。 日頃の道徳授業の在り方について、生徒や保護者の高評価からも教師の努力がうかがえる。						
改善	<ul style="list-style-type: none"> 授業はもちろん、学校生活全体において道徳的实践力を高める。（道徳主任、教師の意識化） 各学年ごとに道徳授業内容について情報交換や資料の共同制作を行う。（道徳主任・各学年道徳担当） 						
⑥	不登校やいじめについて、積極的な情報収集を行い、早期発見・早期対応を意識して取り組んでいる。	55	45	0	100	0	A
		48	52	0	100	0	B
考察	不登校やいじめは学校が解決しなくてはならない喫緊の課題である。不登校については、特に中1ギャップが多いといわれおり、小中連携（小中での交流会や情報交換）がとても大切である。また、チーム学校と言われるように今後も外部機関（SC、SSW、支援学校等）との連携も大切である。 「いじめは絶対にゆるさない」という強い姿勢を先生方は持っており、心を育てることはもちろん、アンテナを高くし、教職員の情報収集と情報交換も頻繁に行われ早期発見・早期対応に努めている。						
改善	<ul style="list-style-type: none"> いじめはどこの学校でも誰にでもおこりえるというスタンスを常に持ち、早期発見・早期対応に努める。（生徒指導主事・教師の意識化） 新たな不登校を生まないための取り組みを、今後も継続していく。（生徒理解・小中連携・生徒支援委員会等） 						
学校関係者 評価委員会 意見	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導委員会が、生徒一人一人について必要なきめ細かい指導について相談をしていることで、よく機能しているようだ。 先生方に「なんでも相談・・・」は難しい、言葉を考えるべきである。 基本的習慣を育てることはとても大切である。保護者と連絡を取りながら育ててほしい。 朝の生徒の様子をみて、いじめの早期発見につなげてほしい。 						
①	生徒の自主性を育成し、学級や学年、学校生活の充実を図るための指導を行っている。	31	69	0	100	0	B
		48	52	0	100	0	B
②	さまざまな行事や活動を仕組み、達成感や成就感が満たされる内容を工夫している。	38	55	70	93	7	B
		52	48	0	100	0	A
生18	学校の行事や生徒会の行事など、学校の行事は充実していると思いますか。	72	24	41	96	4	A
		61	33	43	94	6	A
保18	子供たちが活動する学校の行事は充実していると思いますか。	27	55	12	82	18	B
		32	54	12	85	15	B
考察	先生方の自己評価①②については、例年A評価となっているが、本年度はコロナ感染症対策のため学校行事が削減・縮小されたためにB評価になってしまったと思われる。縮小された中でも生徒の総合評価18がAとなったことは驚きでもあり、大変うれしい結果となった。先生と生徒が一丸となって、制限のある中を工夫し合って取り組んだ、信頼関係の証とも思われる。 保護者においても学校見学の機会が少なくなってしまったが、状況を理解していただき、信頼して頂いた結果、高評価となったと思われる。						
改善	<ul style="list-style-type: none"> 各行事の目的や意義、取り組み方を全職員で共通で確認をする。（各行事ごとにPDCAサイクルにて検証と改善を含む） 学校での活動の様子が保護者に伝わるよう各種たより、HP・動画配信の充実に取り組む。（各種たよりの発行者、HP担当） 						

③	朝読書や図書館の活用を積極的に進め、豊かな感性の育成を図っている。	55	41	8	97	3	A
		52	48	0	100	0	A
④	充実した委員会活動や部活動を行うことができるような指導に努めている。	41	52	33	93	7	B
		31	62	70	93	7	B
考察	朝読書は今年で6年目となる活動である。一日の始まりが静かで落ち着いた雰囲気からスタートすることは、授業への集中力の高まりや穏やかな生活につながっていると思われる。後期は、担任はもちろん、管理職やフリーの先生方も生徒達に「本の紹介」を行うなど、全校体制で読書活動を高めることができた。 また「充実した委員会活動や部活動を行うことができるような指導に努めている」は、例年A評価となっているが、コロナ感染症対策のため大会や行事の中止や縮小が影響していると思われる。						
改善	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書の時間を生徒も教師も全員が本を読む時間にする。（職員の意識化） 読書内容の工夫と改善。（図書委員会で企画検討し提案する） 						
学校関係者 評価委員会 意見	<ul style="list-style-type: none"> コロナの影響のもと、学校行事が今までと同じようには行えない状況があるが、その中でも生徒が「充実している」と感じられる取り組みをしていることは、すばらしい。 量より質、質の高いものに達成感を得られたのではないかな。 いろんな行事が達成できたのは、先生方の努力がうかがえる。 						

①	地域や保護者からの情報や要望を真摯に受けとめ、日々の教育活動に反映できるように努めている。	55	41	30	97	3	A
		45	55	0	100	0	B
②	さまざまな学習活動で、地域の施設を利用したり、地域の人々に協力を要請するなど、地域連携を深めている。	31	52	17	83	17	B
		31	62	70	93	7	B
考察	日頃より、地域や保護者の声に真摯に耳を傾け、教育課程に反映する教師の姿がつかえる。コロナ感染症対策のため学校参観が中止となっていたが、後期になり縮小された学園祭ではあるが、保護者の方にも何とか参観していただくことができ、ご意見をいただくことができた。また、強歩大会では多くの保護者が沿道に立ち、安全確保や応援に御協力をいただき大変感謝している。 ②については、コロナ感染症対策のため職場体験など実施できなかったが、普段から地域の力を活用しながら、学校教育に活かしていく必要がある意識している高評価の表れであるといえる。						
改善	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域の方と意欲的にコミュニケーションを図ろうとする意識改革（職員の意識化） 地域連携を視野に入れた行事の再検討を行う。（教務主任、生徒会顧問） 地域コーディネーターとの連携を図り、地域人材の活用（教頭） 						
③	学校・学年・学級だより等の諸たよりを定期的に発行し、またホームページを活用して、学校や生徒の様子を積極的に公開している。	59	31	7	90	10	A
		62	38	0	100	0	A
生19	学校は、いろんなたよりやホームページなどで、出来事を積極的に連絡し、また公開していると思いますか。	50	37	8	87	13	B
		53	36	10	88	12	A
保19	学校は、各種たよりやホームページなどで、積極的に情報公開を行っていると思いますか。	36	51	10	87	13	B
		39	47	10	86	14	B
考察	本年度は、コロナ感染症対策のために学校連絡メールやホームページを活用することが多かった。 学年だよりや学級だよりなど、学校再開後思いを込めてより積極的に発行されている。 学年通信、担任が発行している学級通信、保健だより、図書だより、給食だより、生徒指導通信、HP等多くの情報発信が行われている。しかしこれらの通信やたよりを発行するしないは任意であり、教師の意欲や態度が問われるものでもない。ただし、必要な情報を適切なタイミングで公開することは、学校に課せられた義務であり、このことは常に心掛けなければならない。						
改善	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、必要な情報は、適切なタイミングで公開を心掛ける。 HP、動画配信については、多くの方に認知していただく方策も検討。 						
学校関係者 評価委員会 意見	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が学校に来る機会も少なくなっている中、学校からの情報発信を続けていくことは大切だ。 学校だよりが地域にも回覧されているが、地域の意見を吸い上げ、地域の力を利用することにつながる。 						

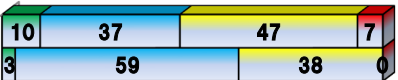
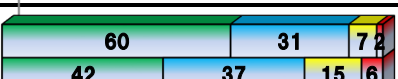
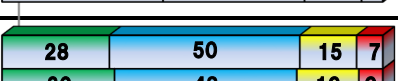
①	学校へ来ることが楽しかった。	27	70	30	97	3	B
		38	59	30	97	3	B
生1	あなたは、毎日元気に楽しく学校に登校していますか。	63	29	5	92	8	A
		61	28	8	89	11	A
保1	お子さんは、毎日元気に学校に通っていますか。	68	26	4	94	6	A
		69	26	4	95	5	A

Ⅶ 自身と職場について

考察	生徒が元気に楽しく通える学校がなにより一番である。わかりやすい授業や居心地のよい人間関係、互いに良いところを見つけ認め合え、それぞれの居場所のある学級集団や学年集団を作り上げているからこそ得られる評価であると思われる。同様に保護者からも高い評価を得られていることはたいへんありがたい評価である。 教師評価も高評価を示しているが、多忙化改善がA評価へのきっかけとなると思われる。当たり前のことであるが、教師が楽しんで学校に来ることが、生徒が楽しいと感じる学校づくりにつながることを今後も意識したい。			
改善	・日常生活においても、一人一人の生徒が輝けるような取り組みを行う。(学年, 担任, 担当) ・学年内はもちろん、学年を越えたコミュニケーションを今まで以上に図る。(教師の意識化)			
②	授業や生徒のことなど、必要な時に職場で話げできた。 	100 97	0 3	A A
③	子供たちに信頼される教師であった。 	86 93	14 7	B B
④	教師としての力量を高めることができた。 	93 100	7 0	B B
⑤	教師集団として、一つにまとまることができた。 	97 100	3 0	B B

考察	職員室では、生徒の頑張りや心配になる点など、学年を越えて話が飛び交うことも多い。しかし、中学校では教科担任制のため職員が顔をそろえて話ができるのは、部活動後の遅い時間になってしまう。そんな中、生徒の情報交換等に労を惜しまずに取り組んでいる。 ②～⑤について、例年より肯定評価が増え、高評価になりつつある。職員の横や縦のコミュニケーションがより積極的に行われた成果と思われる。
改善	・生徒理解のため横縦の日常的な情報交換を大切にする。(教師の意識化) ・教師としての力量を高めるため、専門性や総合的なコミュニケーション能力を高める努力を続ける。(教師の意識化) ・よりレベルの高いものを求める教師集団であるために、常にコミュニケーションと研究と研鑽を続ける。(教師の意識化)
学校関係者 評価委員会 意見	・生徒が楽しく学校に通えることが一番である。教師が楽しく通える学校は、さらに生徒にとっても楽しい学校になるのはもちろんのことである。今後も多忙化改善やコミュニケーションを大切にし、勤めてよかったといえる職場をつくりあげてください

施設設備について

①	学校には、教育活動に必要な施設・設備が整っている 	47 62	53 38	C C
生②	学校には、学習するのに必要なもの・場所・道具などが整っていると思いますか。(前) 学校には、教育活動に適した施設・設備が整っていると思いますか。(後) 	91 79	9 21	A C
保②	学校には、教育活動に適した施設・設備が整っていると思いますか。 	78 77	22 23	C C
考察	後期について、学校評議員の意見を参考にしながら、生徒の質問項目を教師や保護者と同様にしてみた。やはり生徒もトイレや水道など古さや不便を大いに感じていたことが理解できた。今後も安全、安心した過ごしやすい学校施設・設備の改善を要求していくことが必要である。			
改善	・水道、トイレなど、改善を要求していく。(管理職 事務職) ・破損しないような物の扱い方や指導、破損箇所がある場合は各自で修繕を心がける意識を持つ。(教師の意識化) ・それぞれの分掌での必要物品の把握をし、順次整備していくことが望まれる(教師の意識化)			
学校関係者 評価委員会 意見	・生徒の安全や教育のためにも施設はとても大切である。現状を整え、生徒のために環境整備に先生方が努力している様子が見える。 ・今後も施設の改善を保護者、地域と連携して要望を続けることが大切である。			